



# 環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/sohiki/kankyo-c/0000007029.html>

令和元年 11月号 (第282号)



2018年度交通騒音・振動調査結果について…………… P2

「Let's Eco Action in Aichi」を開催します (P3)



「アクション油ヶ淵 2019」を開催しました (P9)



「生物多様性保全・海外学生派遣プログラム」により県内の大学生が韓国を訪問しました (P12)



エコアクションを  
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

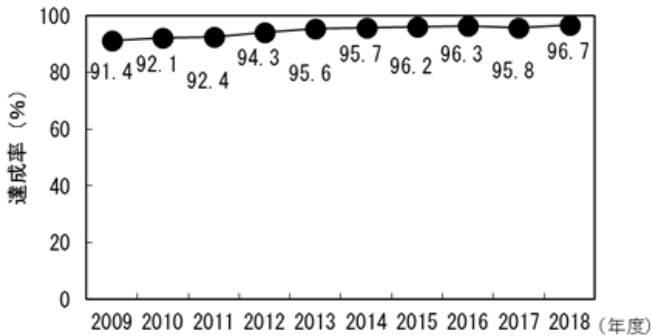
<http://aichi-eco.com>



2018年度に愛知県及び関係市町村が実施した交通騒音・振動の調査結果の概要は次のとおりです。

1 自動車騒音の環境基準達成状況

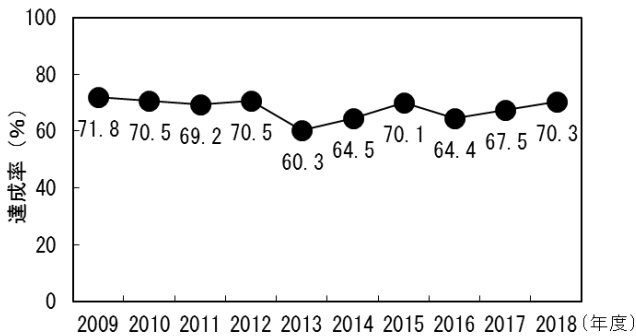
- ・主要幹線道路 1,105 区間 465,810 戸のうち 450,225 戸 96.7%で環境基準を達成  
(2017年度は 1,087 区間 463,559 戸のうち 443,934 戸 95.8%で達成)



環境基準達成率の経年変化 (自動車騒音)

2 新幹線鉄道騒音の環境基準達成状況

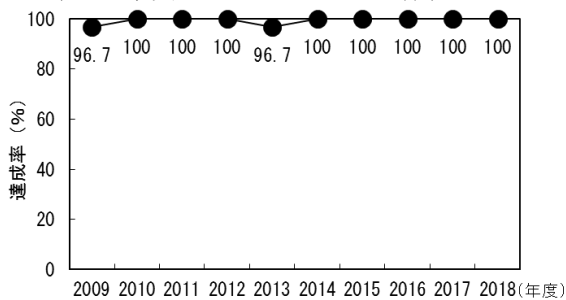
- ・調査地点 74 地点のうち 52 地点 70.3%で環境基準を達成 (2017年度は 77 地点のうち 52 地点 67.5%で達成)



環境基準達成率の経年変化 (新幹線騒音)

3 新幹線鉄道振動の指針値達成状況

- ・調査地点 26 地点全てで指針値を達成  
(2017年度は 29 地点全てで達成)

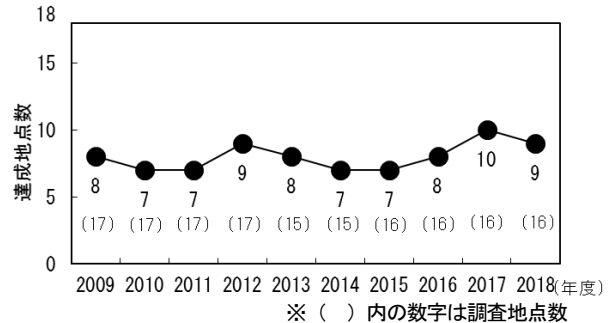


指針値達成率の経年変化 (新幹線振動)

4 航空機騒音の環境基準達成状況

【県営名古屋空港】

- ・調査地点 16 地点のうち 9 地点で達成  
(2017年度は 16 地点のうち 10 地点で達成)



環境基準達成地点数の経年変化 (県営名古屋)

【中部国際空港】

- ・調査地点 5 地点全てで達成  
(2007年度以降継続して、いずれの調査地点でも環境基準値を下回っています)

5 自動車騒音・振動の要請限度超過状況

- ・騒音は県内 127 地点のうち 6 地点で要請限度\*を超過  
(2017年度は 126 地点のうち 6 地点で超過)
- ・振動は調査地点 58 地点全てで要請限度を下回る (2017年度は 52 地点全てで下回る)

※要請限度

騒音・振動が一定の限度を超え、道路周辺的生活環境が著しく損なわれると認められるとき、市町村長が公安委員会等に措置を執るよう要請する際の限度 (数値) のこと。

6 今後の対応

- ・本県及び関係市町村では、今後も引き続き環境基準達成状況等を監視するとともに、関係機関と連携し、交通騒音・振動対策を推進していきます。
- ・詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2018souon-shindou.html>)

〔 水大気環境課生活環境地盤対策室 生活環境グループ  
電話 052-954-6214 (ダイヤルイン) 〕

# 「Let's エコアクション in AICHI」を開催します



地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション※」の輪を広げていくため、刈谷市との共催により環境イベント「Let's エコアクション in AICHI ～つなげよう！SDGsへ そのアクション～」を開催します。

参加は無料です。

皆さんお誘い合わせの上、是非ご来場ください。



※ エコアクションの例  
ごみの分別、公共交通機関の利用 等

## 1 開催日時

11月23日（土・祝）、24日（日）10:00～16:00

## 2 開催場所

- ・みなくる広場（刈谷市若松町2丁目100）
- ・刈谷市総合文化センターアイリス  
（刈谷市若松町2丁目104）
- ・夢と学びの科学体験館  
（刈谷市神田町1丁目39番地3）
- ・トヨタ車体(株)刈谷ふれ愛パーク※  
（刈谷市一里山町金山100）※23日のみ実施。

## 3 主な内容

### (1) ステージイベント

【23日（土・祝）】

- ・地元キッズチアリーダーディング
- ・あいちの未来クリエイト部 調査・研究発表会
- ・森羅特装シュラバスターショー

【24日（日）】

- ・らんま先生（eco 実験パフォーマー）によるパフォーマンス
- ・エコアクションセレモニー（エコキャラ表彰式等）
- ・地元アイドルグループ「0 S ☆ U」（あいちエコアクション広報部）によるエコアクションクイズ



森羅特装シュラバスター



らんま先生

### (2) ワークショップ・ブース展示

環境に配慮した次世代自動車である燃料電池自動車のMIRAIを展示します。今話題のSDGsについて学べる、カードゲームなどもできます。

また、自然素材を使った工作や環境を題材としたゲームなど、環境について楽しく学べる企業や団体のワークショップ・展示が多数出展されます。



燃料電池自動車 MIRAI



ワークショップ

### (3) その他

- ・フードドライブを実施します。ご家庭で余っている食品をお持ちください。食品の詳細はWebページをご覧ください。



フードドライブの様子

- ・7月から9月まで募集した「エコキャラ」の応募作品を会場に展示します。
- ・参加者にエコアクショングッズをプレゼントする企画もあります。（先着順）
- ・23日（土・祝）には、名古屋鉄道(株)主催の「電車沿線ハイキング」が開催され、会場がコースの一部となっています。
- ・一部のワークショップは事前申込制です。詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/ecoactionr01.html>)

〔環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）〕



愛知県では、未来のあいちの担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、大学生を対象とした「人づくり」プログラム「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」を実施しています。

研究所では、6月に開催した開所式以降40名の研究員が4名ごとに10チームに分かれ、パートナー企業10社から提示された環境課題について、企業の現場での調査や担当者の方とのディスカッション等を通じて解決策を検討してきました。

この度、この研究成果を発表する「**成果発表会 2019**」を開催します。

参加費は無料です。研究員の熱意あふれる発表をご覧ください、未来の環境について考えてみませんか。

#### 1 開催日時

12月15日（日）13:00～17:00（開場12:30）

#### 2 開催場所

愛知学院大学 名城公園キャンパス キャッスルホール「明倫」

（名古屋市北区名城3-1-1）

地下鉄名城線名城公園駅2番出口から徒歩約1分 駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。

#### 3 内容

##### (1) 研究成果発表会

研究員全10チームが研究成果を発表します。

##### (2) 修了式及び表彰式

研究員に修了証を授与します。

また、審査員や来場した皆さんによって決定する各賞の発表・表彰も行います。

#### 4 参加募集について

##### (1) 募集期間

12月12日（木）まで（必着）

##### (2) 募集人数

230名（要事前申込、先着順）

#### (3) 応募方法

Eメール、はがき、FAXのいずれかで、①氏名（ふりがな）、②電話番号又はEメールアドレス、③参加人数をご記入の上、お申し込みください。

#### (4) 応募先

Eメール：kagayake@think-pp.co.jp

はがき：〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-8-30  
竹中ビル4F（株）シンク内

かがやけ☆あいちサステイナ研究所事務局

FAX：052-203-8634

※応募者多数により参加いただけない場合は、ご連絡します。

詳細は、研究所公式ブログをご覧ください。

(<http://sustaina-ken.jugem.jp>)

なお、本成果発表会は、愛知学長懇話会SDGs企画委員会との共催により、「第8回 愛知学長懇話会SDGsリレーシンポジウム」としても位置付けて開催します。



昨年度の発表の様子



昨年度の表彰式の様子

環境政策課 企画・広報グループ  
電話 052-954-6210（ダイヤルイン）

# プロから学ぶ連続講座 環境活動ステップアップ研修 参加者募集!



愛知県では、NPO 等による森と緑の保全活動や環境学習の裾野を広げ、活動のレベルアップを図るため、「あいち森と緑づくり税」を活用し、「環境活動ステップアップ研修」を開催します。

研修の内容は、環境活動を実施する上で課題となる「体感型学習の効果的な実施方法」、「企画・広報」、「リスクマネジメント」です。また、本研修に併せて「これからの地域との協働のあり方について」と題して企業からご講演いただきます。

講義やワークショップを通じて、環境活動における課題の解決に役立つ知識や技術を学びます。

参加費は無料です。森と緑の保全活動や環境学習を行う方、意欲のある方の参加をお待ちしています。

## 1 対象者

「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」の実施団体に所属する方、森と緑の保全活動や県民を対象とした環境学習を行っている方、これから行おうとしている方は是非ご参加ください。

## 2 日時・場所等

下表のとおり

## 3 申込方法

次の①②の内容を記載して、郵送、FAX、Eメールのいずれかによりお申し込みください。申込用紙は、

愛知県のWeb ページからダウンロードできます。

- ①希望のテーマ・日時（複数回参加歓迎）
- ②参加者の氏名（ふりがな）、所属団体（あれば）、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス

## 4 申込期限

各回とも開催日の7日前まで（必着、申込先着順）

## 5 申込先

愛知県環境局環境政策部環境活動推進課  
調整・環境配慮行動グループ  
環境学習グループ

郵送：〒460-8501（住所記載不要）

FAX：052-954-6914

Eメール：kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp

詳細はWeb ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/kankyostepup.html>)



昨年度の様子（ワークショップ）

日 時	テーマ	内容・講師等	場 所	定員
11月28日（木） 13:00～16:15	効果的な環境学習	○地域との協働のあり方について 地域（企業、NPO等、学校）との協働の実例から、各主体の今後の地域との協働のあり方を学ぶ 講演：東邦ガス(株) ○体感型学習の効果的な実施方法 参加者が楽しく体験できて、学びにつながるような講座づくりの基礎知識や、効果的な講座とするためのポイントを学ぶ。 講師：井中宏史 氏（名城大学教職センター教授）	あいち環境学習プラザ (愛知県東大手庁舎内)	30名
12月5日（木） 10:00～16:00	企画・広報 【基礎編】	講義、ワークショップを通じて、企画と広報の基本的な知識、技術を身につける。 講師：西直人 氏（リト・クラム㈱代表）	愛知県東大手庁舎 研修室A	60名
12月6日（金） 10:00～16:00	企画・広報 【実践編】	イベントを主催する団体等が抱える課題や問題点を題材として、ワークショップにより企画広報計画を作成する。 講師：西直人 氏（リト・クラム㈱代表）	あいち環境学習プラザ (愛知県東大手庁舎内)	10名
12月13日（金） 10:00～16:00	リスクマネジメント	安全管理の考え方や、リスクの発見と対策について学び、リスクマネジメント方針を作成する。 講師：北川健司 氏（㈱アクト・アサポートシステム代表）	まなびや もりの学舎 (愛・地球博記念公園内)	30名

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ 電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)  
環境学習グループ 電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

## 事業者向け「化学物質適正管理セミナー」を開催します



化学物質による環境や健康への影響を減らすため、愛知県は名古屋市との共催で、化学物質を取り扱っている事業者の皆さんを対象としたセミナーを開催しています。

今年度は、化学物質排出把握管理促進法の見直しに伴う最新のPRTR制度の動向、化学物質の適正管理のためのリスク管理と情報の活用について、環境省及び独立行政法人製品評価技術基盤機構から講演をしていただきますので、是非ご参加ください。

- 1 日時 12月2日(月) 13:30~16:00
- 2 場所 鯉城ホール(伏見ライフプラザ 5階)  
(名古屋市中区栄一丁目23番13号)
- 3 定員 600名(申込み先着順)
- 4 参加費 無料

### 5 講演内容

- (1) PRTR制度の動向と見直しについて

環境省大臣官房環境保健部環境安全課

妹尾 光平 氏

- (2) 化学物質の適正管理

～リスク管理と情報の活用～

独立行政法人製品評価技術基盤機構

化学物質管理センターリスク管理課

松崎 寿 氏

### 6 申込方法

Web ページから事業所名、申込人数、氏名、メールアドレス等の情報を入力の上、お申込みください。

(<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>

[cgi-script/prtr/event/event\\_view.cg](https://www.pref.aichi.jp/kankyo/cgi-script/prtr/event/event_view.cg))

環境活動推進課 環境リスク対策グループ  
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

## 県民向け「化学物質セミナー」を開催します



化学物質は私たちの快適な暮らしに欠かせないものですが、使い方を誤ると人や動植物に悪影響を与えてしまうおそれがあります。そこで、身の回りの化学物質に対する理解と関心を深めるため、愛知県は名古屋市との共催で、県民の皆さんを対象としたセミナーを開催しています。

今年度は、暮らしの中の化学物質について、化学物質アドバイザー及び日本石鹼洗剤工業会からご講演いただきますので、是非ご参加ください。

- 1 日時 12月17日(火) 14:30~16:30
- 2 場所 愛知芸術文化センター12階  
アートスペースA  
(名古屋市中区東桜一丁目13番2号)
- 3 定員 150名(申込み先着順)
- 4 参加費 無料

### 5 講演内容

- (1) 化学物質の正しい理解と適切な使い方

東京工業大学非常勤講師

横浜国立大学環境情報研究院研究員

環境省事業化学物質アドバイザー

小山 富士雄 氏

- (2) 暮らしの中の石けん・洗剤

日本石鹼洗剤工業会コミュニケーション

推進専門委員会

委員長 稲葉 美穂子 氏

- 6 申込先 名古屋市環境局地域環境対策課

有害化学物質対策係

### 7 申込方法

①氏名、②電話番号、③お住まいの市町村名を、Web ページ(名古屋市電子申請サービス <https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/>)、電話(052-972-2677)又はFAX(052-972-4155)により、お申込み下さい。

環境活動推進課 環境リスク対策グループ  
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

# 「あいち・なごやの自然・生きもの」

## フォトコンテスト募集中!



愛知県と名古屋市は、2020年の「国連生物多様性の10年」の最終年に向け、フォトコンテストを実施しています。美しい自然、大好きな景色、力強く生きる生きもの、自然のめぐみなど、魅力が伝わるような写真を募集します。プロ・アマ問わずどなたでもご応募ください。

### 1 目的

あいち・なごやの自然や生きもの、の美しさや素晴らしさ、大切さを再発見し、あいち・なごやの自然や生きものについて考えていただくきっかけとする。

### 2 募集テーマ「あいち・なごやの自然・生きもの」

### 3 締切 11月20日(水)

### 4 賞の種類

最優秀賞 1点 (賞品：旅行券3万円分)

優秀賞 3点 (賞品：旅行券1万円分)

特別賞 10点程度 (賞品：地元特産品)

### 5 応募方法

Instagram 又はメールにてご応募ください。

(事務局 (株)オン・アース 電話：090-9946-6446

メール：photo@onearth.biz)



詳細は、Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/>

[ikimono-aichi-nagoya.html](https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/ikimono-aichi-nagoya.html))

〔 自然環境課 生物多様性保全グループ  
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン) 〕

# 「メッセナゴヤ2019」の愛知県ブースに、 優れた環境技術を有する企業・団体が出展します



愛知県内の優れた環境技術を有する企業・団体を広く紹介し、商談や宣伝の機会を提供するため、「メッセナゴヤ2019」(異業種交流を図るビジネス展示会)に愛知県ブースを出展します。

公募の上、選定した23社・団体の優れた環境技術や3R製品を発信するとともに、愛知県の循環ビジネスの支援施策も紹介します。

入場は無料ですので、是非お越しください。

### ○ メッセナゴヤ2019の概要

会 期	11月6日(水)～9日(土)
開場時間	10:00～17:00(8日(金)は18:00まで、9日(土)は16:00まで)
会 場	ポートメッセなごや(名古屋市港区) ※入場登録方法等の詳細は、Webページをご覧ください。 ( <a href="https://www.messenagoya.jp/">https://www.messenagoya.jp/</a> )
主 催	メッセナゴヤ実行委員会

### ○ 愛知県ブースに出展する企業・団体(五十音順)

(株)イーズライフ	永興物産(株)
(株)エコネコル	(株)エム・イー・ティー
(株)環健スーパーテクノ	(株)小柵屋・ゼネック(株)
(株)サンケン	三商(株)
(株)三進製作所	(株)スズイチ
全国防草ブロック工業会 東海支部	太平産業(株)
(合同)W.ファイルシステム	中部エコバイオ(合同)
(株)富田組	日本エンジン(株)
日本モウルド工業(株)	(株)マキテック
メトロ電気工業(株)	吉田機械興業(株)
(株)リックス	理念経営協会
NPO 法人わっぱの会・(一社)しげんカフェシステムズ	

23社・団体

〔 資源循環推進課 循環グループ  
電話 052-954-6233 (ダイヤルイン) 〕

## 本県から3名が令和元年度自然公園関係功労者 環境大臣表彰を受賞しました



環境省では、自然公園の保護とその適正な利用に関し、顕著な功績があった者を讃えるために「自然公園関係功労者環境大臣表彰」を行っています。

令和元年度の表彰では全国から27件が選ばれ、そのうち本県からは、自然公園指導員として顕著な功績があった3名の方が受賞されました。



表彰式の様子

(2019年9月28日 洞爺湖文化センターにて)

<受賞者及び功績> (敬称略)

・加藤 貞亨 (新城市)

鳳来寺山を中心に生息する動物・植物等に関する自然保護思想の普及啓発活動を継続し、動植物の保護と幅広い層に対する自然への理解の浸透に尽力された。

・石川 伸一 (西尾市)

吉良温泉等において観光客等に対し、海岸での事故防止の指導をはじめとした巡回指導を行うほか、危険箇所の巡回を行いながら海岸周辺の保全に尽力された。

・伊藤 輝宣 (東栄町)

天竜奥三河国定公園内を定期的にパトロールし、歩道の管理・清掃を行うとともに、観光客等に対し鹿や熊に関する事故防止の注意指導を実施し、公園内の環境整備に尽力された。

〔自然環境課 調整・施設・自然公園グループ  
電話 052-954-6227 (ダイヤルイン)〕

## 自動車解体業に係る情報共有に関する覚書を 愛知県警察と締結しました



自動車の盗難を防止するため、自動車解体の用に供する施設又は場所(通称:ヤード)での盗難自動車の解体を規制する「ヤードにおける盗難自動車の解体の防止に関する条例」(ヤード条例)が本年7月5日に公布され、12月1日に施行されます。(届出に関する規定は、10月1日に施行されました。)



覚書締結式の様子

(左: 県警刑事部長 右: 県環境局長)

これを受けて、「使用済自動車の再資源化等に関する法律」(自動車リサイクル法)に基づく自動車解体業の規制を行っている愛知県環境局と、ヤード条例を所管する愛知県警察本部刑事部は、自動車リサイクル法に基づく無許可営業の早期発見・早期対応及びヤードにおける盗難自動車の解体の防止について連携強化を図るため、10月2日に情報共有に関する覚書を締結しました。

今後、愛知県環境局と愛知県警察本部刑事部との間で、ヤードにおける自動車解体業に係るそれぞれが保有する情報を相互に共有し、生活環境の保全及び盗難自動車の解体の防止に努めていきます。

〔資源循環推進課廃棄物監視指導室 指導グループ  
電話 052-954-6237 (ダイヤルイン)〕



## 「アクション油ヶ淵2019」を開催しました



油ヶ淵は、愛知県内唯一の天然湖沼です。この油ヶ淵への関心を深め、水質浄化に向けた気運を盛り上げるため、油ヶ淵水質浄化促進協議会※は、啓発イベント「アクション油ヶ淵」を毎年度開催しています。

今年度は、9月28日（土）に油ヶ淵水辺公園自然ふれあい生態園において開催し、体験型講座の実施や各種イベントブースの出展を行いました。

ミニビオトープをつくる講座では、メダカや水草など油ヶ淵の在来生物を使ったミニビオトープをつくりながら、生きもの同士の繋がり合いを学びました。また、野鳥観察の講座では、講師による鳥や植物等の解説のもとで油ヶ淵周辺を散策し、ミサゴなどの野鳥を見つけることができました。

各種イベントブースでは、油ヶ淵クイズやうなぎのつかみ取り・風船くじ、生きものタッチプール、水質調査体験、水質浄化実験、オリジナルエコバッグづくり、抹茶ワッフルの無料試食、モーターボートの展示、木のペンダントづくりなどを行いました。



ブース（生きものタッチプール）



講座（生きものミニビオトープづくり）



ブース（オリジナルエコバッグづくり）



講座（野鳥観察会）

天候にも恵まれ約650名の方にご来場いただき、様々な体験を通じて楽しみながら油ヶ淵の生きものや環境に関心を高めていただくイベントとなりました。

※油ヶ淵水質浄化促進協議会

油ヶ淵の水質浄化を目的として1993年設置。

愛知県と油ヶ淵周辺4市（碧南市、安城市、高浜市及び西尾市）で構成。

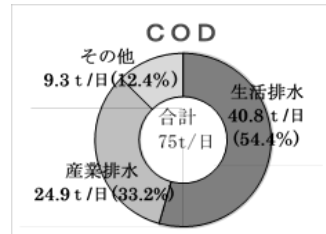
〔水大気環境課生活環境地盤対策室 三河湾環境再生グループ  
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）〕

# 「浄化槽保守点検業者の登録に関する条例」を改正しました



## 【改正の背景】

伊勢湾、三河湾を汚濁する主な原因は、生活排水であり（汚濁負荷量の割合 54.4%）、特に浄化槽やくみ取り便槽を設置する家庭・事業場等から排出される汚水の影響が大きいです。



伊勢湾主要排出源別の負荷量構成比 (愛知県 2017 年度実績)

また、愛知県の浄化槽設置基数は、約 54.5 万基と全国第 2 位である一方、浄化槽の管理者に義務付けられている法定検査(浄化槽法第 11 条に基づく水質検査)の受検率は全国平均(41.8%)の約半分(21.0%)です。

順位	県名	設置基数
1	千葉県	576,052
2	愛知県	544,658
3	静岡県	507,419

浄化槽設置基数 (2017 年度末現在) 上位 3 県

(引用：環境省「平成 30 年度 浄化槽の指導普及に関する調査結果」)

2019 年 6 月に浄化槽法が一部改正され、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の推進、浄化槽の管理の強化などが図られることとなりました。

こうした中、浄化槽の適正な維持管理を推進するためには、浄化槽の管理者への意識啓発が重要であり、接する機会が多い浄化槽保守点検業者から、清掃及び法定検査の実施を勧めることが効果的です。このため、浄化槽保守点検業者を軸に清掃業者及び指定検査機関との連携を強化するとともに、優良な浄化槽保守点検業者を育成し、不適正な業者に対する指導を強化することなど、浄化槽保守点検業者の資質の向上に取り組んでいきます。

本県では、浄化槽保守点検業者の登録に関する条例を一部改正し、生活排水対策をより一層推進し、公共用水域の更なる水質改善を目指すこととしました。

## 【改正の概要】

### 1 優良浄化槽保守点検業者認定制度の創設

事業の実施に関し優れた能力・実績を有する浄化槽保守点検業者を優良浄化槽保守点検業者として認定し、その業者の登録の有効期間(現行は一律 3 年)を 5 年に延長する制度を全国で初めて創設しました。

### 2 無登録業者への指導強化

全国で初めて、登録を受けずに浄化槽保守点検業者を営む者に対し、報告徴収及び立入検査をできるように規定しました。

### 3 浄化槽保守点検業務の再委託の禁止

委託を受けた浄化槽保守点検業務を他者に再委託することは、責任の所在が不明確になることから、原則禁止としました。

### 4 浄化槽保守点検業者から関係者への通知・連絡を義務化

浄化槽保守点検業者から浄化槽管理者に対して、清掃の実施時期及び法定検査の受検時期の通知等を規定するとともに、清掃業者に対して清掃実施時期の連絡規定を設けました。

これにより、浄化槽管理者は清掃や法定検査の受検時期が把握しやすくなります。

### 5 浄化槽保守点検業者への指導強化

浄化槽法の一部改正に伴い、浄化槽管理士に対する研修の機会の確保を浄化槽保守点検業者に義務付けるとともに、浄化槽保守点検業務実施時に浄化槽管理士の資格を証する書類を必携化しました。

また、浄化槽管理士は、1 つの浄化槽保守点検業者への専属を義務付けました。

### 6 その他

浄化槽保守点検業者の役員等について、暴力団員等又は暴力団員等の支配を受ける者を排除する規定を設けました。

〔水大気環境課生活環境地盤対策室 生活環境グループ  
電話 052-954-6219 (ダイヤルイン)〕

# 令和2年度愛鳥週間用ポスター原画募集の

## 愛知県選考作品を決定しました



令和2年度愛鳥週間用ポスター原画を募集したところ、県内の小・中・高等学校等から計24,367作品のご応募をいただきました。審査会での選考の結果、特に優秀と認められた以下の33作品を、(公財)日本鳥類保護連盟主催の「令和2年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」へ応募しました。

※愛鳥週間は5月10日～5月16日

### <小学生の部> (18 作品)

			
豊橋市立西郷小学校1年 おやいづ りさ 小柳津 里彩さんの作品	江南市立布袋小学校1年 せとやま めい 瀬戸山 芽衣さんの作品	設楽町立名倉小学校1年 はらだ りむ 原田 緑紫さんの作品	名古屋市立高田小学校2年 ふくしま そうた 福島 颯太さんの作品
			
名古屋市立菊住小学校2年 いほふし ゆき 今藤 優希さんの作品	江南市立古知野北小学校2年 おげき しょうこ 尾関 正悟さんの作品	春日井市立藤川小学校3年 まつお てるまさ 松尾 光将さんの作品	名古屋市立比良西小学校3年 かとう しゅうと 加藤 鷹登さんの作品
			
安城市立文山小学校3年 しばや こうき 瀧谷 美樹さんの作品	大山市立羽黒小学校4年 たなか さやか 田中 沙彩加さんの作品	名古屋市立旭丘小学校4年 のもと りんたろう 野本 薫太郎さんの作品	知立市立知立小学校4年 はせ けんと 長谷 健人さんの作品
			
安城市立桜林小学校5年 こにし まお 小西 真央さんの作品	江南市立宮田小学校5年 たかだ なおこ 高田 奈枝子さんの作品	名古屋市立弥富小学校5年 えさか やまと 江坂 大和さんの作品	刈谷市立双葉小学校6年 やました ちひろ 山下 千尋さんの作品
			
瀬戸市立長瀬小学校6年 みずたに いつき 水谷 樹生さんの作品	半田市立亀崎小学校6年 あおき わかな 青木 和奏さんの作品		

### <中学生の部> (9 作品)

		
豊川市立音羽中学校1年 ほりうち ひろき 堀内 啓生さんの作品	名古屋市立城山中学校1年 たかはし あゆみ 高橋 鮎美さんの作品	安城市立篠目中学校1年 よこえ ゆきの 横江 雪乃さんの作品
		
小牧市立北里中学校2年 みやた りこ 宮田 梨子さんの作品	北名古屋市立西春中学校2年 おかもと さき 岡本 紗美さんの作品	名古屋市立千種中学校2年 ひらい さき 平井 咲季さんの作品
		
大府市立大府南中学校3年 うえの ひよりさんの作品	春日井市立東郷中学校3年 あおき みさき 青木 実咲さんの作品	名古屋市立守山西中学校3年 やまぐち ゆうた 山口 裕大さんの作品

### <高校生の部> (6 作品)

		
愛知県立佐織特別支援学校高等部1年 いとう まき 伊藤 麻希さんの作品	愛知県立国府高等学校1年 やまもと みろ 山本 真文さんの作品	名古屋市立工芸高等学校2年 たがみ まあや 田上 万礼さんの作品
		
愛知県立春日井東高等学校2年 ひび ゆうあ 日比 優杏さんの作品	愛知県立総合工科高等学校3年 よこた ふゆ 横田 美優さんの作品	名古屋市立工芸高等学校3年 こいづか まや 横口 麻弥さんの作品

※作品はWeb ページにも掲載しています。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/r2aicyo-aichisenko.html>)

自然環境課 国際連携・生態系グループ  
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン)

# 「生物多様性保全・海外学生派遣プログラム」により 県内の大学生が韓国を訪問しました



愛知県と韓国江<sup>かんろうおん</sup>原道との間で一昨年締結された「環境分野の業務協力・交流に関する協約書」に基づき、生物多様性の主流化と保全に関する取組を推進するため、「生物多様性保全・海外学生派遣プログラム」を実施しました。

- 1 日程：9月23日～27日の5日間
- 2 派遣学生：愛知県内の大学生5名
- 3 内容

## 【1日目（9月24日）】

江原大学校を訪問し、江原道の自然の現状に関する講義を聞いた後、野生動物救護施設を視察し、保護動物の野生復帰について説明を受けました。

午後には愛知県での生物多様性保全に関する状況や取組について自身が調べてきた内容を発表し、江原大学校の学生が行っている調査研究の発表を聴講したうえで、意見交換を行いました。

その後、江原道庁みどり局を訪問し、江原道が行っている生物多様性保全に関する取組や、これからの計画について話を伺いました。



愛知県の生物多様性に関する発表を行う学生

## 【2日目（9月25日）】

江原大学校の演習林を訪問しました。ここには絶滅に瀕した植物を保全している植物園が併設されており、一般市民にも開放され、幼児の教育施設としても活用されています。

学生達は演習林の自然やそれを育む土壌の働きなどについて学びました。また、保護された野鳥を野生に放す式典に参加し、放鳥を体験しました。

午後には様々な動物の寿命や体重を示したカードを順に並べたり、ゴミの分解にかかる年数を比較したりするゲームを通じて、生物多様性や環境問題を楽しみながら学ぶためのツールを体験しました。



植物園で話を聞く学生

## 【3日目（9月26日）】

江原道立フラワーガーデンを視察しました。ここは12万㎡を超える広大な敷地内に1,800種以上の植物を栽培している植物園です。学生達は施設内の山林博物館で江原道の自然を模した展示などを観察し、江原道が行っている自然学習を体験しました。



山林博物館の景観展示

## 4 成果

派遣活動中、学生達は江原道の学生と活発に交流し、色々な体験を通じて、日本とは異なる様々な活動や考え方などを学ぶことができました。

今回の学生達の活動結果の詳細については、来年1月に開催される「あいち・なごや生物多様性EXPO」において報告がありますので、是非お越しください！

〔自然環境課 国際連携・生態系グループ  
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン)〕

## 1 今後の天候の見通し

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、今年は10月に入っても暑い日があり、豊田市では10月1日に32.2℃を記録し、統計開始以来、10月としての1位の値を更新したこともニュースになりました。

名古屋地方気象台は11月の東海地方の天候について、晴れの日が多く、気温も平年並か高くなると予測しています。

## 2 初霜観測日の変化

東海地方では、11月下旬から12月上旬にかけて初霜が降りる傾向にあります。この初霜の日を名古屋地方気象台では季節現象として、1890年度から記録しています。

初霜観測の平年値(1980年度から2009年度の平均)が11月27日であるのに対し、直近の10年間(2009年度から2018年度)では6回も平年値より10日以上観測が遅れており、近年は初霜の観測日が遅くなっていることがうかがえます(図1)。

## 3 気候変動による温州みかんへの影響

冬が近づいてくる11月は、みかんが多く出回るようになる季節です。一般にみかんと呼ばれるものは「温州みかん」のことですが、温暖な地域で栽培されるみかんは、実は暑さが苦手です。

果実が成熟する時期に高温多雨に見舞われると、「浮皮」という、みかんの果皮と果肉が分離した状態になり、味が悪くなる原因となります。農林水産省による調査報告書によれば、近年、温州みかんの浮皮が多く報告されるようになっていきます(表1)。

## 4 浮皮発生抑制対策(適応策)

温州みかんの浮皮を防ぐ対策は、各県で様々な取組が検証・実施されています。その取組の1つとしてカルシウム剤の散布があります。これは、ノズルを使って、成熟期のみかんに炭酸カルシウム等を高圧で散布するもので、果実や葉の蒸散を促進することで浮皮の発生を抑制するものです。

このように、気候変動による近年の果樹への影響へ適応していくため、カルシウム剤の散布以外にも

品種改良や被覆資材の使用など、様々な適応策が実施されています。

## 5 ウォームビズ等の実施(緩和策)

「みかん」は俳句で冬の季語とされており、こたつや鍋など、冬を連想される人も多いと思います。

寒い日が多くなると暖房の稼働も増えると思いますが、県では、地球温暖化防止のための賢い選択「あいち COOL CHOICE」の1つとして、冬期の「ウォームビズ」を呼びかけています。これは、ひざ掛けやストール等を活用して暖房を室温 20℃目安にすることとしており、省エネに努めながら快適に、暖かく過ごしましょう。

また、今月から来年3月31日まで「あいちウォームシェア2019」を実施しています。これは家庭の暖房機器の使用を見直し、公共施設や商業施設のシェアスポットへ出かけて暖かさを分かち合う取組で、冬期のCO<sub>2</sub>を約38kg削減できます。内容の詳細は、来月発行する環境かわら版12月号で掲載します。

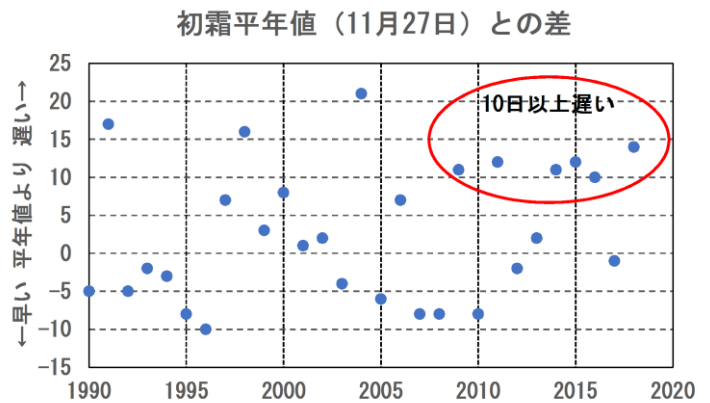


図1 初霜観測日の平年値との差

(名古屋地方気象台のデータを基に作成)

表1 温州みかんの浮皮発生都道府県数

年度	2017	2016	2015	2014	2013
浮皮	13	14	11	8	5

出典：農林水産省「農林水産分野における地域の気候変動適応計画調査・分析事業」調査報告書(東海地域)

環境調査センター 企画情報部  
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

生平小学校は長年、地域と共に愛鳥活動を行っています。この活動は、環境省・(公財)日本鳥類保護連盟主催の全国野生生物保護実績発表大会においても素晴らしい実績があり、昨年は文部科学大臣賞を受賞しました。

## 1 生平小学校の概要

生平小学校は、愛知県岡崎市の地理的中央部、生平町に位置する全校63名の小規模校です。学区には標高200m～400m程度の山々が連なり、矢作川水系の男川が流れています。山には、植林された人工林もありますが、自然林も多く残されており、年間を通じて約80種の野鳥を見ることができます。

## 2 伝統のある愛鳥活動

生平小学校の愛鳥活動は、今年で38年目です。「ふるさと学習」の一環として、全校で取り組んでいます。



1979年 巣箱かけの様子

### (1) 知る活動

#### ① 野鳥の継続観察や生態調査

主として各学級で決めた「マスコットバード」について、年間を通じた継続観察を行っています。また、2か月に1度の割合で縦割り探鳥会があり、生態調査を行うと同時に野鳥の知識を向上させる大事な機会となっています。



「マスコットバード」の発表

#### ② 環境変化の追跡調査

学区全戸を対象にした「ツバメの営巣調査」は、1987年から継続して毎年行っています。新東名高速道路建設に伴い、ツバメの巣立ち数が大きく減少し

ましたが、現在は回復傾向にあります。結果をもとに、子供たちは、カラス対策やツバメの巣を壊さないよう呼びかけています

#### ③ 野鳥に対する知識の共有

野鳥についての知識を深めるために、ウォッチングカードの記入や、生平小学校が独自で作成している「ふるさと探鳥ガイド」をもとにした野鳥検定を実施しています。

### (2) 守る活動

#### ① 冬季の給餌活動

冬季の自然餌が乏しくなる時期に、学校裏山で給餌活動を行っています。野鳥のために、実のなる樹木の植樹・栽培や、ヒマワリを育てています。また、給餌台の工夫をしたり、直播きをしたりして、どの野鳥がどんな餌を食べるのか、校舎内廊下に常設されたフィールドスコープを使って、観察しています。



冬季の給餌活動の様子

#### ② 自然環境の整備

裏山の整備活動として、針葉樹林の調査や竹林の伐採、土壌調査、学区の川や池の水質調査を行い、水鳥のための環境整備も行っています。

### (3) 広げる活動

児童の保護者や地域の方へ、集会の公開や親子探鳥会の実施、活動内容と野鳥の情報を掲載した「ふるさと愛鳥新聞」の年4回の配付など、継続的に地域への情報発信を行っています。



親子探鳥会の様子

〔自然環境課 国際連携・生態系グループ  
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン)〕

愛知県環境情報紙「環境かわら版」  
令和元年11月5日発行(第282号)  
編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6  
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

#### 編集後記

今年は大雨や台風の被害が多く、気候変動の影響が現れていると感じます。被災地の方はつらい毎日を過ごされていることと思います。

ラグビーワールドカップでは、日本チームの最後まであきらめない姿勢が印象に残りました。復興も環境対策も道のりは長いですがあきらめず、粘り強く進めていきたいものです。

(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。